

(3) ICTの導入について

メリット

- ・医療と介護の情報がリアルタイムで共有できる。
- ・多職種の連携・調整が容易になる。
- ・時間を節約できる。(電話、会議など)
- ・情報共有がある程度ペーパーレス化できる。
- ・電子データとして残るので、振り返りや記録がしやすくなる。
- ・医療側は患者の日常生活の情報を、介護側は治療経過や服薬内容などの情報を、交換しやすい場を作ることにより、支援の高度化及び効率化が期待できる。
- ・ネットワークを利用する機関が多いほど、積極的に利用するほど、効果が期待できる。

デメリット

- ・システムによっては導入コストが発生する。
- ・サーバーの設置場所を確保する必要がある。 設置場所の問題
- ・導入コストがかからないシステムでも、通信料など運用コストが必ず発生する。
- ・システムの機能を増強する場合、それなりにシステム改修費用が発生する。
- ・ネットワークに加入しない医療機関や介護事業所が情報共有の輪から取り残され、情報格差ができてしまう。同様に機械に弱い個人も情報格差ができる。
- ・個人情報が増えやすくなる。

情報共有システム導入について

- ・基本的に市が情報共有システムの費用をほとんど負担できないことが前提となる。
- ・初期導入コスト（サーバー設置、初期） 県基金の補助対象
- ・導入コストが発生しないシステム(例 メディカルケアステーション) 補助対象外
- ・パソコン、携帯端末（スマートフォン、タブレットなど）購入費 補助対象外
- ・インターネットの通信費 補助対象外

それ以外で想定されるもの

- ・導入した場合、どの程度積極的に利用してもらえるか予想できない。導入後も継続して利用してもらえるか同様に予想できない。
- ・既に独自様式を使用している医療機関や介護事業所の共有方法をどのように扱うか。
生かすか、廃止するか。（一般的な電子データの様式であれば引き続きメール等でやり取りはできる。）
- ・帳票を共通化することになった場合、現在独自帳票を運用している関係機関の理解を得られるか。得られない場合どう対応するか。
- ・個人情報が出た場合どう対応するか。